

三井住友海上9条の会たより NO35 2020.9.20

みなさま、お元気ですか？炎暑も終わり朝晩は涼しくなりました。さすが「暑さ寒さも彼岸まで」ですね。一方、コロナウイルスは季節と関係が有りや無しや？不気味な存在となり、人間社会を脅かし続けています。この国では更に暗雲ただよう政治が展開されそうです。

「安倍・麻生・菅の三悪トリオ」の菅が首相になってしまいました。新内閣になったとたん支持率が上がって、いつものパターンながら、有権者はこの内閣に何を期待しているのでしょうか？「引継ぎ内閣」と言っているし、更に「消費税増税、自助・共助・公助、自民党結党以来悲願の憲法改正」などを掲げて、期待のしようもないのに……。国民の多くが自民党のやり方にノーと言いつける有権者になってもらいたいと思います。 (谷)

損保9条の会第17回講演会は、11月22日(日)14:10より

北とびあで！

「コロナ問題が問いかける、国民のための政治・経済のあり方」をテーマに、浜 矩子氏が講演します。今私たちが知りたいことに応じてくれるものと期待されます。

詳しくは同封のチラシをご覧ください。コロナ対策として消毒、会場の喚気等、万全を期します。

なお、全体で100名位の参加に抑えられていますので、最終参加人数を調整させていただく場合があります。参加される方は中澤迄(090 4725 2192)ご連絡ください。

また、講演終了後の「懇親会」は、行いませんのでご了承ください。

「三井住友海上9条の会」への活動資金カンパの

ご協力有り難うございました

今回4月の活動資金カンパのお願いに応じて25名の方からご協力をいただきました。

家計も厳しい中、暖かいご支援に心からお礼申し上げます。今回は切手でのご支援もありお心遣いに感謝申し上げます。「おたより」に使わせていただきます。

今後ともいい活動ができますよう励みたいと思います。(中澤)

<内訳> 現金・振り込みにて 100,000円
切手にて 9,240円
合計 109,240円



(裏面があります。お読みください)

三井住友海上9条の会(事務局) 中澤気付 〒331-0823 さいたま市北区日進町2-866-3
世話人・呼びかけ人 岩越 一色 大石 岡本 折笠 川上 谷 土田 中澤 蓮沼 伴 翠川 山本

「政府の行為によって再び戦争の惨禍

が起ることのないようにすることを決意」(日本国憲法前文)

山本宗治

日本の8月は、反戦・平和の月である。6日・9日広島・長崎の原爆の日、15日の終戦記念日と続く、あの戦争の悲惨さを思い起こさせる夏である。

原爆・空襲・疎開・防災訓練・学徒動員・戦後の混乱・外地からの引き上げ・食糧難等々苦難のことは数え上げたらきりが無い。これらのことを過去のことにすることなく、再びくり返さない国にしなければならないことを改めて思いを強めた。憲法前文の政府の行為によって戦争をおこさせないことである。

- 安倍首相は原爆平和式典及び戦没者慰霊式典でも、例年の式辞を繰り返すだけであった。広島・長崎の平和宣言で求められている原水爆禁止条約への署名・批准については今年もそっけなかった。世界で唯一の被爆国として条約に背を向けず積極的に参画すべきである。どの世論調査を見ても大多数の支持を受けているものである。式典に参加した被爆者から何のために広島・長崎に来たと憤る声が聞かれた。

今年終戦から75年の節目の年であるにもかかわらず、終戦記念日の式典でも先の戦争に対する「反省と謝罪」の言葉はなかった。

今年5月アメリカで白人警察官による黒人虐殺事件に端を発し、「黒人の命は大切だ」運動はいまや世界に拡がり、人種差別・奴隷制度・植民地支配の過去を問う動きへ広がっている。イギリス・ベルギー・フランス等ヨーロッパ諸国の植民地支配と暴政への責任追及と謝罪要求が高まり、各地で銅像等の引き倒しや撤去が起きている。

こうした世界の流れの中、日本の過去の戦争及び植民地支配にたいし、問われる中で、安倍首相から「反省と謝罪」の言及がないではすまされない。国際的に批判され首相の資格なしと言わざるを得ない。

- コロナ・パンデミックの感染者は全世界で2千百万人余、死者76万人余、日本では感染者5万4千人余、死者1千人余(8月15日現在)である。

いずれ落ち着くであろうが見通しは立っていない。そんな時、コロナ対策で国民が政治的立場をこえて対処しなければならない時、自民党や改憲派の一部が新型コロナは緊急事態の一つ、憲法改正の大きな実験台として、憲法に緊急事態条項を創設する議論を呼びかけている。そもそも、非常事態又は、緊急事態法制は戦争放棄の9条と同じく、「戒厳の大権」など政府の一存で行える条項を憲法に規定しないという原則で決められたものであり、国民主権の基本である。

コロナ・パンデミックのような危機が迫った時、国の指導者への期待度あるいは支持率が一般的に上がると言われている。ヨーロッパの国々で感染者が急増しても、政権支持率が軒並み上昇している中で、支持率が下がっているのが、安倍政権だけである(中央公論9月号)。

日本は、強い措置を取らなかったにもかかわらず人口比率、感染者数・死者数は少ない。それだけ見れば評価されるが、なぜ、政権の支持率が下がり続けるのか国会を開かず記者会見もせず、星野源の音楽に合わせてくつろぐリーダーの下には国民はついていけない。以上コロナ自粛の中で、原水禁や平和集会等が開催できないなかで、憲法9条を守ることの重要性を再確認した夏である。2020.8.15

(付記) 2020.8.28 安倍首相は辞意を表明した。「9条を中心とする改憲問題についてはこれからも頑張っていきたい」と取り組む姿勢を強調しており、我々も安倍辞意に気を緩める事なく、9条まもれの運動を強めていきたい。 2020.9.1